

北海道新聞

2005年（平成17年）6月22日（水）

十勝の農畜産物

「付加価値付け全国へ」

帯広 産学官推進委が初会合



十勝の農畜産物の高付加価値をめざす「都市

エリア産学官連携促進事業」（文部科学省所管）の第一回推進委員会が二十一日、帯広市内のホテルノースランドで開かれた。中核機関の十勝圏振興機構のほか、帯広畜産大をはじめとする十七の研究機関などから約七十人が参加した。

同事業の目的は、食品の持つ病気予防などの「機能性」に注目した商品開発。同機構の藤村敏則専務理事が「十勝の農畜産物に付加価値を付け

今後の活動について協議する関係者たち
.....
て全国に発信することが重要」とあいさつし、同

事業の意義を述べた。続いて、向こう三年間に行う事業内容を報告し、①パレイショ②ソバ・マメ類のスプラウト（新

芽）③ナカイモ④ナチュラルチーズに関する新商品を開発することなどを確認した。

（幸坂浩）